

農業環境と微生物 — 微生物展示 —

農業環境変動研究センターでは、明治14年(1881年)から約135年間にわたり採取・寄贈された微生物標本を保管しています。農業環境中の微生物の研究は農作物の病原菌の研究から始まりました。現在は、広く環境中の微生物の働きを明らかにし、それらの微生物を役立てる研究をしています。研究成果の紹介や所蔵標本の一部を展示しています。



(上) 微生物の保存方法: 試験管培養保存
(右) 土のDNA診断: 土壌から直接取り出したDNAを調べる方法について実物の実験装置を展示して解説しています。



農業環境問題に取り組んだ歴史 — 肥料・煙害・放射能モニタリング展示 —



(上) 大正4年(1915年)に撮影された四阪島精錬所(愛媛県)、(右) 被害を受けた植物の標本



明治から昭和にかけておこなわれた肥料分析や、同じ時代の亜硫酸ガスによる農作物の被害(煙害)調査の資料を展示しています。また、1959年(昭和34年)から続けてきた農地土壌や農作物に含まれる放射性物質のモニタリング調査の結果や、2011年の原発事故以後の農地土壌の放射性セシウム濃度分布図、調査のための測定機器などを展示しています。

公開データベースを体験 — 企画展示 —

企画展示室では、土壌モノリス(土壌断面標本)の作り方や明治時代の土性図、最新のデジタル土壌図のほか、地球温暖化対策の研究成果などを展示しています。また、ウェブサイトで公開しているデータベース等を体験できます。

体験コーナー

(左) 歴史的農業環境閲覧システム: 明治初期の地図(迅速測図、関東地方のみ)と、現在の土地利用とをならべて見ることができます。
(右) 土壌のCO₂吸収「見える化」サイト: 地図上で指定した農地土壌のCO₂吸収量(蓄積する炭素量の変化)が調べられます。



◇利用案内◇ 農業環境インベントリー展示館(農業環境変動研究センター内)

開館時間: 8:30 ~ 17:15

休館日: 土・日曜日、祝日、年末年始

見学を希望される方は、事前に農研機構ホームページの申し込みフォームにてお申込みください。

(見学の内容はご相談ください。)



展示館案内



データベース等



見学申し込み

／／利用者声／／ 標本等を実際に見ることができ、面白かったです。特に昆虫が印象に残りました。(高校生)／専門的なことをわかりやすく説明してくれて、引き込まれました。(生産者団体)／分かりやすい標本などがあって良かった。標本の作り方について、詳しく教えてもらったので興味がわいた。(中学生)／とても楽しかった。初めてこんなに土に感心させられた。また来たいです。(高校生)／可能であれば、土壌モノリスの説明に作物生産の情報を加えるとより良くなると思う。(タイの学生)など